



平成 30 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ヒマラヤ
 代 表 者 名 代表取締役社長 後藤 達也
 (コード番号 7514 東証・名証第1部)
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 大野 輝文
 (TEL 058 - 271 - 6622 (代表))

**平成 30 年 8 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 29 年 9 月 28 日に「平成 29 年 8 月期決算短信[日本基準] (連結)」の中で公表いたしました平成 30 年 8 月期の第 2 四半期累計期間 (平成 29 年 9 月 1 日 ~ 平成 30 年 2 月 28 日) の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、平成 30 年 8 月期通期 (平成 29 年 9 月 1 日 ~ 平成 30 年 8 月 31 日) の業績予想数値につきましても修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値と実績値との差異

(1) 平成 30 年 8 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値と実績値との差異
 (平成 29 年 9 月 1 日 ~ 平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,720	百万円 404	百万円 364	百万円 414	円 銭 33.60
実績値 (B)	32,255	266	308	338	27.44
増減額 (B - A)	464	670	672	752	
増減率 (%)	1.4				
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 8 月期第 2 四半期)	35,557	347	284	287	23.31

(2) 平成 30 年 8 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値と実績値との差異
 (平成 29 年 9 月 1 日 ~ 平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 29,500	百万円 170	百万円 310	円 銭 25.16
実績値 (B)	30,797	449	394	32.01
増減額 (B - A)	1,297	619	704	
増減率 (%)	4.4			
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 8 月期第 2 四半期)	32,264	68	67	5.50

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成30年8月期通期連結業績予想数値の修正

(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 69,870	百万円 1,420	百万円 1,530	百万円 700	円 銭 56.82
今回修正予想(B)	66,561	1,790	1,892	1,100	89.28
増減額(B-A)	3,309	370	362	400	
増減率(%)	4.7	26.1	23.7	57.1	
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)	72,907	1,130	1,293	427	34.68

(2) 平成30年8月期通期個別業績予想数値の修正

(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,720	百万円 1,680	百万円 872	円 銭 70.78
今回修正予想(B)	65,000	2,000	1,140	92.53
増減額(B-A)	2,280	320	268	
増減率(%)	3.6	19.0	30.7	
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)	65,662	1,629	466	37.87

3. 差異および修正の理由

(業績予想数値と実績値との差異)

単体にて、インターネット販売が成長している事に加え、暖冬傾向を見込んでの売上計画に対して、順調な気候推移の年となったことから、防寒衣料、雑貨などの季節性商品が好調に推移し、増収、増益となりました。

連結では、平成29年12月20日「連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」に記載の内容のとおり、第2四半期以降、当社の連結子会社であった株式会社ビーアンドディーが連結対象から除外されました。

これにより、売上高は減収となりましたが、単体の増益により、増益となりました。

(通期業績予想の修正)

単体にて、第2四半期の実績、およびインターネット販売の継続的な成長を見込むことなどから、売上高、経常利益、当期純利益が、期初に発表した業績予想を上回る見込みです。

連結では、子会社の異動の影響により減収となりますが、単体の増益により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、期初に発表した業績予想を上回る見込みです。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上